

令和6年度「地域めぐり懇談会」意見交換の記録

開催日 11月25日(月) 10時30分から12時00分

会場 別海町西公民館

参加者 17人

全体会「議員定数と議員報酬について」

- ・議員の報酬は、町の財政状況で決定するのか。
(議員発言) 財政状況ではなく、役務の量で決定する。
- ・1名定数を減員して15名でいい。常任委員会は、今までどおり3つの委員会でいい。

総務文教分会「地域住民の移動手段の確保について」 参加者 6人

- ・地域の商店での買い物に対し、配達料などの補助があれば配達を利用しやすくなり、隣近所への負担が減るのではないかと。
- ・買い物や通院だけでなく、お茶をしに行ったり友人宅へ遊びに出かけたいが、移動手段がない。
- ・様々な用途別に、やり方を考える必要がある。
- ・安全に運転するための補助具の助成があれば使ってみたい。
- ・バスがあっても、バス停までが遠くて行けない。

(行政に対する要望事項)

- ・大きなお祭りには町の臨時バスを運行しているが、老人会のイベントや懇談会のようなイベントにもバスを出してほしい。ほかの地域の老人クラブにも出かけてたい。
- ・バス・ハイヤー券は使い勝手が悪い。使い勝手が悪ければ、免許返納するのを躊躇してしまう。

福祉医療分会「病院・診療所の運営について」 参加者 9人

- ・西春別も尾岱沼も、診療所がなくなるんじゃないかと心配している。町長にお願いするだけでいいのか。連合町内会など団体で嘆願書や要望書が有効なのか。町長の仕事の邪魔になるのだろうかなどわからない。町長の責任ではあるけれど議会としてはどのような動きをしていくのか。
(議員発言) 一般質問では町長に確認している。町長は存続で約束しているが、医者がいないことには、人脈や町長等をつてで見つけていく状況。リクルートの会社や出張医に声掛け、出張医への働きかけ等の余地もある。地域の働きかけはパワーになる。町長に直接行くのも一つの方法だが、今回4ヶ所で意見を聞くので議会としても対応を準備していく。
- ・なくなるのなら移動手段が困る。
- ・薬もらうだけではなく、月に1回くらい先生に診てもらいたい。

・遠くに行かないで近くの病院に行きたい。

・奨学金対象者の確約は？

(議員発言) 8名の医大の方に月額20万。意向確認や情報はやりとりしている。別海で就労しなければ返還する人もいる。卒業後の研修期間もあるのですぐに来れない。何年かしたら別海に戻りたいと考えている人もいる。

・医療を目指す人に長い戦略で手厚く支援。

・町立ではなく開業。中標津町の新しい病院もネット予約でやっている。町立にこだわらなくても。

・小児科はネット予約、LINE呼び出しが主流。別海病院も取り入れたらどうか。別海町は広いので子どもを学校に送り届けてから行くと病院に出遅れる。別海町でどうしてもできないのか。

・病児保育は西と東にないので、体調の悪い子どもを30分かけて連れて行くのは大変。

・障害や高齢等の家族の病院の送迎。家族の介護者がいなくなるとどうしたらいいのか。

・診療所がないと地元の病院の紹介がネック。

・ハイヤー・バス券の対象外なので、別海の医療機関に通うのに往復1,500円かかり困っている。特に歯医者とか頻回なので。

・歩行器利用だとバスに乗るのも困っている。

・オンライン診療は薬をもらうだけなら便利だと思う。

・急に体調が悪い時に、そばに先生がいてありがたかった。

(行政に対する要望事項)

・発熱外来はいつまでやるつもりなのか。他市や他町ではもうやめている。

産業建設分会テーマ「ふるさと交流館の今後について」 参加者 2人

・宿泊もでき、食事もできる交流館にすべきである。

・今の交流館の建物の大改修が必要である。

・ふるさと交流館に道の駅的な機能を持たせるべきである。

・海産物や乳製品も買える施設にすべきである。

・多少赤字になっても、納得のできる赤字の仕方を考え、町民全体で運営すべきである。

(その他の事項)

・別海町は広いので、道の駅がもう一つあってもよいのではないかと。

・地元の海産物が地元で買いにくい。